

地域志向研究概要報告書（別紙）

所属・職	人間社会学部・准教授	氏名	勅使河原 隆行
研究課題	千葉県内における避難者支援活動と地域交流に関する研究		
<p>1. 研究実績・成果の概要</p> <p>本研究の目的は、「大学生が避難者支援活動を行うにあたり、具体的にどのような活動内容が求められているのかを実証的に検証すること」である。実証的研究（調査）では、避難者支援活動を行っている行政や団体の支援員、地域交流会などに参加している避難者自身を対象として実証的研究（聞き取り調査など）を実施した。調査の対象地域として、千葉県山武市、千葉県千葉市を中心に行った。さらには、避難元である福島県相馬市でも実証的研究を実施した。なお、本研究における倫理的配慮として、調査対象者に対しては、回答した内容はすべて数値化を行い個人が特定されない旨、および、その上で回答が得られたことによって同意したと理解する旨を調査票に明記もしくは説明をした。そのため、本研究で使用するのは、連結不可能匿名化データである。</p> <p>実証的研究を通じて、主に次のような結果が得られた。大学生に求められている活動内容として、「避難者が集まる場の提供」、「震災を風化させないために情報発信をすること」、「避難地域の伝統行事への参加、動員、継承」、「避難している子どもに対しての学習支援」、「被災地の食材を使用した新しい商品開発」などであることが明らかになった。また、これらの活動は、大学生のような若い世代が実施することに意義があることも明らかになった。今後も継続して研究を実施し、さらに詳細な分析を実施する予定である。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等記録</p> <p>著書 「人間関係ハンドブック」福村出版、2017年3月10日</p> <p>学会発表 「復興支援活動報告」第19回日本福祉図書文献学会、千葉商科大学、2016年8月27日</p> <p>学内報告 「千葉県内における避難者支援活動と地域交流に関する研究」ユニバーシティ・アワー、千葉商科大学、2017年1月11日</p> <p>3. 研究実績と経費の関連</p> <p>実証的研究に関わる交通費や消耗品等、適正に使用した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項</p> <p>2017年6月に開催される「日本老年社会科学会」において、「東日本大震災における避難者支援活動に関する研究」、「地域における避難者交流に関する研究」をテーマに2本の学会発表を行う予定である。</p>			